



令和3年度 佐賀市地域づくり交流会

じぞくかのう
持続可能なまちづくり
あかみらい
～明るい未来へつなぐバトン～



[期 日] 令和4年1月29日(土)9:30～12:00

[会 場] 佐賀勤労者総合福祉センター(メートプラザ佐賀)

【ライブ配信】

下記 URL または QR コードからご覧ください📺

【URL】 <https://youtu.be/TkM7-9PN3fc>



佐賀市

目 次

1	プログラム	1
2	講師プロフィール	2
3	内 容	
	基調講演	3
	テーマ:「持続可能なまちづくり～明るい未来へつなぐバトン～」	
	講師:LOCAL&DESIGN(株) 代表取締役 福田 忠昭 氏	
	事例発表	
	①佐賀市市民活動プラザ	21
	発表者:副プラザ長 秋山 翔太郎 氏	
	②西九州大学短期大学部	31
	発表者:地域生活支援学科 准教授 福元 健志 氏	
	③田島興産株式会社	37
	発表者:代表取締役 田島 広一 氏	
4	活動の紹介(まちづくり協議会)	41

プログラム

時間	内 容
9:30	開会 あいさつ 佐賀市長 坂井 英隆
9:40 ~ 10:50	基調講演 テーマ「持続可能なまちづくり～明るい未来へつなぐバトン～」 講師:LOCAL&DESIGN株式会社 代表取締役 福田 忠昭 氏
10:50 ~ 11:00	休憩
11:00 ~ 12:00	事例発表 発表者 ①佐賀市市民活動プラザ 副プラザ長 秋山 翔太郎 氏 ②西九州大学短期大学部 地域生活支援学科 准教授 福元 健志 氏 ③田島興産株式会社 代表取締役 田島 広一 氏 意見交換 ○コーディネーター LOCAL&DESIGN(株) 代表取締役 福田 忠昭 氏 ○コメンテーター 春日北まちづくり協議会 事務局長 野口 剛志 氏
12:00	閉会

講師プロフィール



福田 忠昭 (ふくだ ただあき) 氏

1972年福岡市生まれ。大阪大学大学院環境工学専攻修了後、コンサルタント事務所を経て、2010年、LOCAL&DESIGN(株)を設立。

同年、福岡市天神地区のエリアマネジメント団体「WeLove天神協議会」のまちづくりディレクターに就任。(2015年まで)

福岡県内を中心に住民参加型のまちづくりやエリアマネジメントの実践、地域・行政・企業・NPO等による協働のまちづくりのコーディネートに取り組んでいる。

資格等

- ・技術士(建築部門 都市及び地方計画 第63639号)
- ・福岡県まちづくり専門家登録
- ・福岡市共創による地域づくりアドバイザー登録
- ・特定非営利活動法人 里まちサイクルコミュニティ理事
- ・特定非営利活動法人 いき交流文化デザイン研究所 理事
- ・特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター理事

専門とするテーマ

- ・企業、NPO 等多様なセクターとの協働によるまちづくりの推進
- ・住民主体・自分事のまちづくりの推進
- ・エリアマネジメントによるまちづくりの推進
- ・景観、アートなどのまちづくり



令和3年度佐賀市地域づくり交流会

持続可能なまちづくり ～明るい未来へつなぐバトン～

令和4年1月29日

自己紹介

氏名：福田 忠昭（ふくだ ただあき）

所属：LOCAL & DESIGN株式会社

活動：福岡市でまちづくりに関する調査、計画づくり、実践（社会実験など）を行いながら、地域と行政・NPO・企業との協働によるまちづくりをコーディネートしています。



本日の内容

- 1 コロナ禍で私たちが気付いたこと
- 2 これからの地域コミュニティ
- 3 事例の紹介（活動のヒント）
- 4 一歩先の地域づくり・まちづくりへ

1. コロナ禍で私たちが気付いたこと

● 身近な生活環境のありがたさ

住む場所と働く場所が近いこと
（職住近接、通勤時間が短い）



1.コロナ禍で私たちが気付いたこと

●身近な生活環境のありがたさ

家の近くにちょっと気分転換ができるような場所があること



自然豊かな公園



行きつけの飲食店

1.コロナ禍で私たちが気付いたこと

●オンラインの可能性

遠くにいる人と簡単につながることができる



オンライン会議



タブレットでのテレビ電話

1.コロナ禍で私たちが気付いたこと

●身近な生活環境のありがたさ
＝日常の大切さ

●オンラインの可能性
＝時間や地理的制約の解消
参加者の多様化

さて、地域コミュニティはどうでしょう？

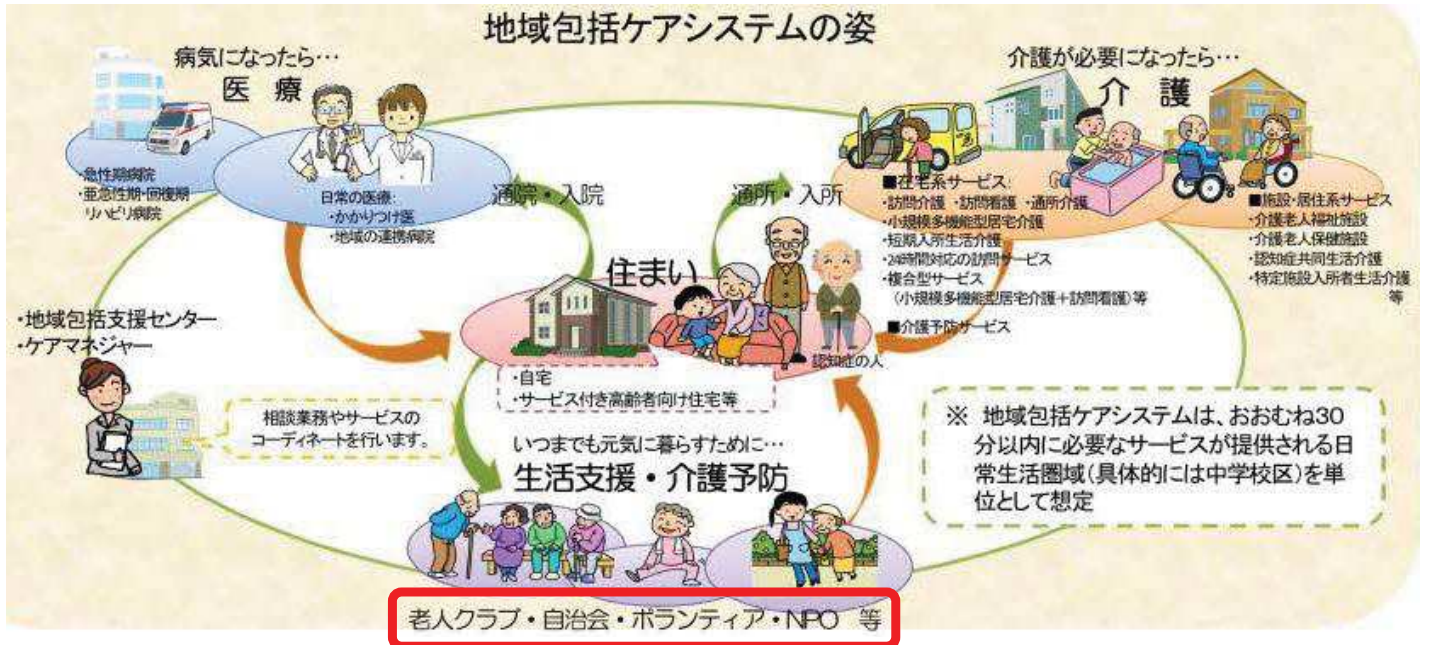
2.これからの地域コミュニティ

- コロナ禍での変化
 - ・ほとんどん活動が「中止」となった。
 - ・一部、オンラインでの試みも。
- 従来からの課題は改善されていない
 - ・役員・担い手の不足。
 - ・参加者数の減少。
 - ・多世代の参加の実現。
 - ・活動や参加者の固定化・停滞。 など

2.これからの地域コミュニティ

- しかし、地域コミュニティの役割や期待は、
どんどん増している！

医療・福祉(介護、生活支援・介護予防)



2.これからの地域コミュニティ

- しかし、地域コミュニティの役割や期待は、
どんどん増している！

生涯学習

- ・公民館での社会教育
- ・シルバー大学
- ・市民大学

地域での教育

- ・小中学校での地域学習
- ・世代間交流事業
- ・寺子屋活動

地域での子育て

- ・子ども会
- ・子ども食堂



2.これからの地域コミュニティ

- しかし、地域コミュニティの役割や期待は、
どんどん増している！

防 犯

- ・防犯灯の設置
- ・防犯パトロール
- ・交通安全指導
- ・見守り活動
- ・声掛け運動



防 災

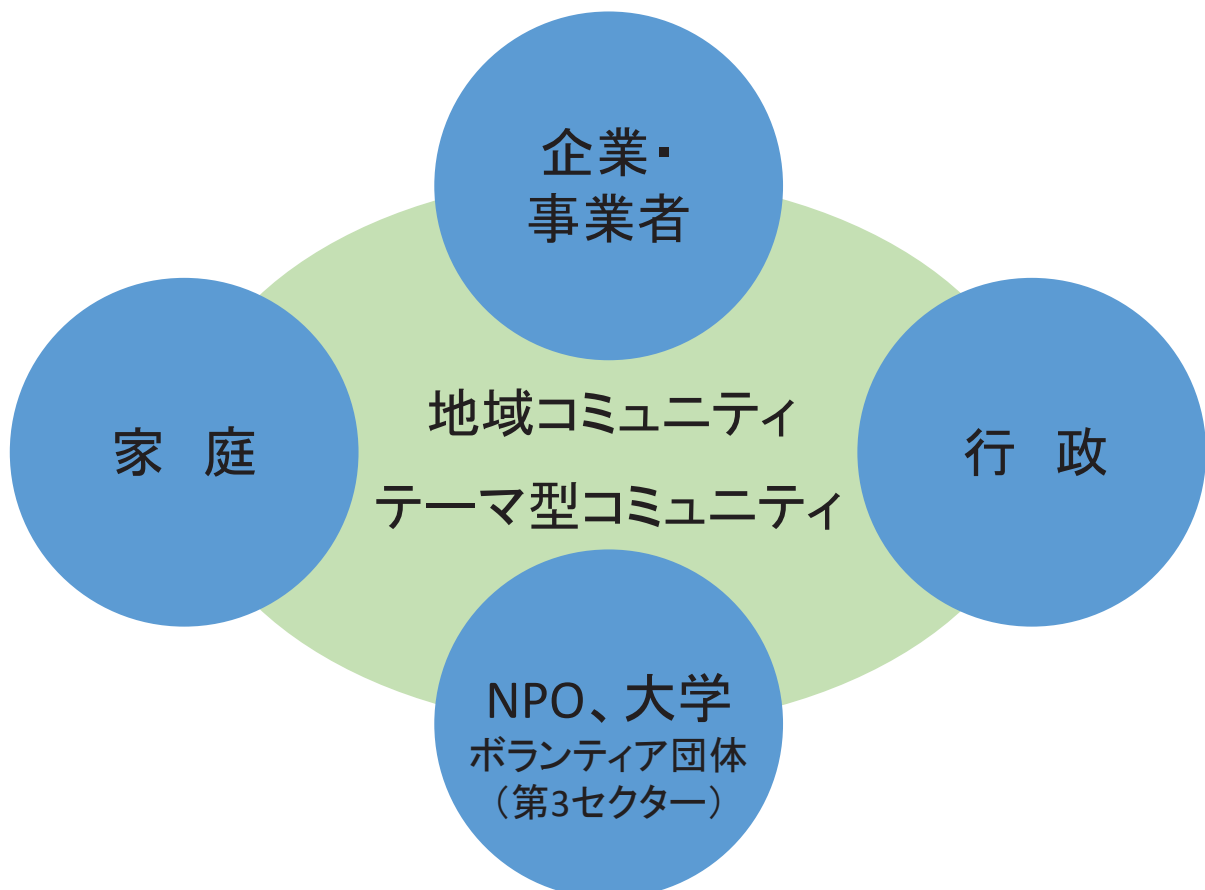
- ・防災訓練
- ・避難訓練
- ・地域防災組織



災害対応

- ・初期対応(救助)
- ・互助
- ・共助
- ・復旧・復興

2.これからの地域コミュニティ



2.これからの地域コミュニティ

- 地域コミュニティの役割は、**様々な分野**で増している。
- 多様な主体が「**協働(共働)**」、「**共創**」して、地域の様々な課題の解決に取り組んでいくことが求められている。
- 多様な主体は、それぞれの目的で活動を行っているので、**連携するには工夫が必要**となる。

3.事例の紹介(活動のヒント)

①トークフォークダンス

フォークダンスのように、どんどん相手を変えて対話をする方法です。全く費用はかからず、大人と子どもなどの対話や交流が生まれています。



Q「子どもたちに聞きます。昨日、何をしていましたか？」
「大切な本はなんですか？それはなぜ？」「学校にひとこと伝えるとしたら！」
Q「大人の方に聞きます。今まで生きてきて大事にしてきたことは何ですか？」
「初恋の人のことを教えてください」

3.事例の紹介(活動のヒント)

②地域カフェ

福岡市では、社会福祉協議会や自治協議会、事業者など連携して公民館などで月に1回などで開催しています。お茶や軽食の提供のほか、ミニコンサートや落語、パンや野菜の販売など、それぞれ地域のニーズをくみ取って工夫されています。高齢者に限らず子育て世代など多様な人が参加しています。



3.事例の紹介(活動のヒント)

③みんなの図書館／ブックカフェ

みんなの図書館とは、「誰でも来ることが出来る場所を地域に作りたい」を目的に、図書館から地域のコミュニティの醸成を目指しています。個人でおすすめの本を紹介したり、コミュニケーションの場になっています。



3.事例の紹介(活動のヒント)

④屋外映画祭

屋外での映像の上映。夏休みに子どもを対象とした企画や環境問題を考えるために、清掃活動を行ってドキュメンタリー映像を実際の現場で鑑賞するといった企画を実施しました。



子どもたちのお楽しみ



環境学習の一環として

3.事例の紹介(活動のヒント)

⑤空き家を使った居場所づくり

地域のお母さんが、空き家を活用し、多様な人が集まれる「居場所」をDIYでつくりました。日替わりランチを提供しながら、いろいろな講座やワークショップを開催しています。



3.事例の紹介(活動のヒント)

⑥中学生によるコミュニティレストラン

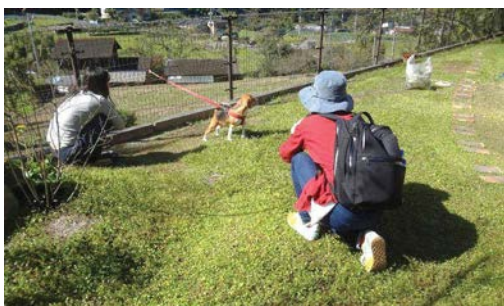
地域の空き店舗やシェフなどの協力を得て、中学生が課外活動としてコミュニティレストランづくりに取り組み、期間限定でオープンさせました。体験を通じて実学を学びました。



3.事例の紹介(活動のヒント)

⑦撮影さんぽ写真展

プロのカメラマンとともに地域の好きな場所にみんなのでかけ、写真を撮影します。撮影した写真のことを話し、後日写真展を開催しました。



3.事例の紹介(活動のヒント)

⑧ ママコLab

子育て世代のお母さんたちが企画・運営。少しの時間子どもを預けて、リフレッシュの時間や学びの時間を楽しむことができます。



託児はボランティアのおばあちゃんたち



3.事例の紹介(活動のヒント)

⑧ ママコLab

子育て世代が集まって話をする中から、おさがりを交換する(思い出をバトンタッチする)お店を開こうというアイデアが生まれました。

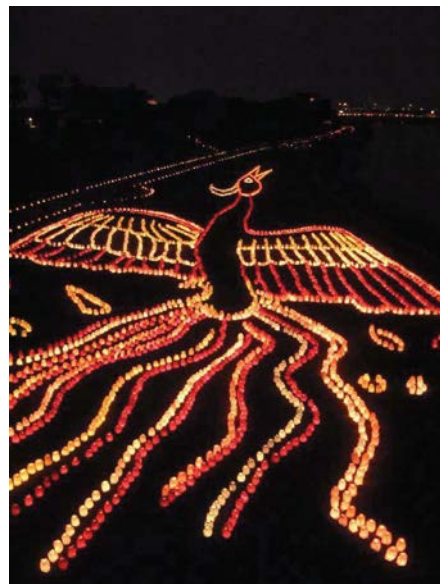
また、お母さんだけでなく、お父さんも参加できるDIYワークショップなども企画されました。



3.事例の紹介(活動のヒント)

⑨室見川灯明まつり

紙袋でつくった灯明を河川敷や校庭などに配置して、大きな地上絵などを制作するイベント。子どもからお年寄りまで多くの人の一致団結した協力がなければ実現できない。



3.事例の紹介(活動のヒント)

⑩病院による買い物支援

地域の病院の協力で、買い物に出かけられない高齢者を支援。町内会、民生委員さんなどの地域の方と事業所との共創によるプロジェクト。



3.地域活動を楽しむコツ

キーワード

子ども

食べ物

文化・アート

季節感

手作り・DIY

3.地域活動を楽しむコツ

子ども

- ・子どもが参加することで、子育て世代の参加にも広がり、**多様な世代の参加**が実現します。
- ・子どもたちの反応は、正直です。楽しくないことには参加してくれません。本気で**楽しい企画**を考える必要があります。
- ・次世代の**担い手の育成**のためにも、子どもの時代から楽しい地域での体験を得てほしい。



3.地域活動を楽しむコツ

食べ物

- ・食べ物があると**コミュニケーション**をとりやすい。
- ・ただお茶を飲みに来る、食事をしに来るという**特別な目的を持たずに**来訪してもらうきっかけがつけられます。
- ・地域の**特産品**などをアピールすることもできます。
- ・食べ物をつくる過程で更なる**コミュニケーション**を図ることができます。



3.地域活動を楽しむコツ

文化・アート

- ・文化やアートなどの**クリエイティブな要素**があると、活動が**楽しくなります**。
- ・**創造力**を活かしたワークショップなどは、子どもからお年寄りまで、楽しく参加することができます。
- ・**創意工夫**をすることができる余地があることで、マンネリ化を防ぐことができます。



3.地域活動を楽しくするコツ

季節感

- ・季節感を捉えた企画とすることで、参加のモチベーションが上がります。
- ・日本人にとって、**季節ごとの様々な行事**は、生活の中で深い意味を持っています。そういったことに少しでも気づくことは、生活を豊かにしてくれます。



3.地域活動を楽しくするコツ

手作り・DIY

- ・手作りやDIYで、まずは**自分たちでできること**から始めてみるのが大事です。
- ・手作りや自分たちでつくったものには**愛着**がわきます。
- ・**自分たちの手で**、環境や場を変えていくという体験は、なかなかできないことなので、みんなで取り組むといいと思います。



4. 一歩先の地域づくり・まちづくりへ

地域に埋もれている「資源」を活用する

地域に「ある」ものをよく見てみる。

- ヒト: 人材(高齢者、子ども同士)など
- モノ: 空き家、リサイクル資源など
- バシヨ: 公民館、公園、河川敷など

4. 一歩先の地域づくり・まちづくりへ

企業・事業者との連携

- ・企業
→自社の営利だけが目的ではなく
- ・社会貢献、地域貢献
- ・地球環境への配慮
- ・持続可能な社会への配慮

などが「選ばれる会社」として必要不可欠

4. 一歩先の地域づくり・まちづくりへ

大学・NPOとの連携

- ・行政、企業だけでなく
地域活動を**サポート、支援、伴走**
をしてくれる第3のセクター
- ・広い**人脈**や**高い専門性**を持っている
- ・コーディネーターなどの役割

まとめ

地域活動は、まちづくりの原点で、
いきいきとした**生活の基盤**となるものです。
また、地域の歴史を紡いでいくものです。

その手法は様々で、いろいろな工夫次第で
楽しくなるとても**創造的な活動**です。

楽しい地域活動を**次世代の子どもたち**に
継承していきましょう。

事例発表

市民活動団体

大学

企業

きっかけをつくり 育み、根付かせる 市民活動の拠点施設として



佐賀市市民活動プラザ

運営：特定非営利活動法人 佐賀県CSO推進機構

副プラザ長 秋山 翔太郎

プラザ窓から
南方面を望む

ハードとソフトで市民活動をサポート

佐賀市市民活動プラザ

主な役割

- 活動の拠点を提供する（施設・機器）
- 知識や情報を収集し発信する
- 疑問や相談を共に考え伴走する
- 「ひと」や「こと」を橋渡しする（協働、コラボをお手伝い）



佐賀市市民活動プラザ

◀ハローワーク エスプラッツ▶

場所：佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル7階
開館：09:00～22:00（年末年始以外無休）

普段の職場です



会議室・フロア



印刷機・パソコン



相談支援・情報発信



人材育成・交流連携

活動に必要な、ひと・もの・こと
がそろっています

運営：特定非営利活動法人 佐賀県CSO推進機構



親子交流サロン▼

▼学習席・グループ席

◀オンデマンド印刷機

ハード面で支援

印刷機・大判プリンター
電動パンチ・丁合機・紙折機
ワーキングルーム▼



活動ブース▼

情報コーナー
イベント・セミナー
団体紹介・新聞



ソフト面で支援

1. 情報収集・提供
2. 相談支援
3. 調査・研究 (ヒアリング)
4. 研修・講座 (人材育成)
5. 交流連携 (交流会等)
6. 機運醸成



保健／医療
福祉
社会教育
まちづくり
観光
農山漁村／中山間地域
学術／文化／芸術
スポーツ
環境保全
災害救援
地域安全
人権／平和
国際協力
男女共同参画
子どもの健全育成
情報化社会の発展
科学技術
経済活動活性化
職業能力／雇用機会
消費者の保護
団体支援

2021年度版 市民活動団体 ガイドブック



毎年発行
市民活動団体ガイドブック

佐賀市内で活動を繰り広げる

233団体

を掲載（2021年度版）

掲載団体以外にも活動されている団体はあります

会員募集

ボランティア募集

出張派遣（無料・有料・要相談）

プラザの窓口等で配布中

地域や他団体と つながって活動する

持ち味を活かし
広がる可能性



Local Leader (環境ユース)



大学生、市民活動団体と経済界の青年



学生団体と地域住民、公民館

つないだ
こと



学生団体がコラボしてクリーク探検



寄付浴衣を募って学生と留学生で打ち水パレード



筑後川対岸の佐賀と久留米

2015~
~2020

西与賀キッズクラブ

子どもたちの体験活動
多世代交流で社会性も育む



子どもが発案
キッズクラブまつり

西与賀
公民館
地域住民

えこいく



環境紙芝居
クリーン大作戦
環境かるたづくり



収穫体験
エコクッキング

エコっぷ
環境サークル
2019年で
活動終了

佐賀学生
スーパー
ネット



ふれあい農業体験
ハロウィンパーティ
ペットボトルキャップアート

2018
2019

その先に何が見える？

クリーク探検隊！

～クリークを探検して
街や生き物を見てみよう～

えこいくが助成を受けて企画
クリークの活用や水辺の生き物を専門とする
団体と連携した（2019年と連続開催）

えこいく
e-さが基金
助成事業

さが
クリーク
ネット

Green-
Nexus



クリークの歴史を学ぶ



街なかにある自然環境



先人が築いた水路や石橋

佐賀の伝統的な水辺「クリーク」を探索
ルート：多布施川（護国神社前）▶松原川（旧久富家前）

2018
10/14

西与賀親子ふれあい

自転車安全教室 & 自転車点検（2回目）



点検 ▶ 講習 ▶ 乗車

チャリ
さが
さいせい
2020年で
活動休止

西与賀
小学校
PTA



定期的な点検とメンテナンスによって快適に乗り続けられる
▶物を大切にすることでリデュース（=放置、廃棄自転車の発生抑制）につながる



活動形態の変遷



コロナ禍で地域の団体が抱えた悩み・課題

- 居場所に来た子どもの数は少なめでした。ずっと家にこもっていたという声をたくさん聞きました。心身の変調がないか心配です。
- イベント、訪問活動、講座などの中止・自粛により広報啓発活動や資金調達ができない。

—公益財団法人佐賀未来創造基金
「新型コロナウイルス感染症対策に係るCSO支援のための緊急アンケート」より

- 福祉分野では、コロナ禍での対応が困難なエリアもあります。コロナ対策をしながら**地域の高齢者孤立の回避**、介護人材の不足、経営者の後継者不足など年々課題は大きく、いずれ介護崩壊をまねくおそれを危惧しております。
- コロナ以降の中間支援のあり方を考えなければならないと思う。リモート等を使った支援を強化していかなければならないと思うが、やはり基本は人と人の信頼・つながりだと思うので対面も尊重していきたい。

—特定非営利活動法人佐賀県CSO推進機構
「佐賀県中間支援組織情報交換会アンケート（2020.7及び2020.12）」より

増えている相談内容や依頼内容

オンライン ・ ハイブリッド ・ ライブ配信

- ・ 東京の講師を**オンライン**で招いての座談会開催したい。
- ・ セミナーや講演会を**ハイブリッド**で開催したい。（複数）
- ・ 連続講座を**Facebook**で**ライブ配信**したい。
- ・ 地域コミュニティ向けの**オンライン**会議活用講座を開いてほしい。
- ・ **オンライン**で読書会をしたい。
- ・ 地域住民向けに**Facebook**講座／**オンライン**講座を開きたい。（複数）
- ・ **オンライン**会議を利用して事業を広げていきたい。
- ・ 複数の公民館を**オンライン**でつなぐ際、機材はどうすればいいか。
- ・ 生涯学習イベントを**Facebook**と**Instagram**で**ライブ配信**したい。
- ・ フェアトレード講座を海外の講師と**オンライン**でつなぎ開催したい。
- ・ **オンライン**と**ライブ配信**を組み合わせた講座を開催したい。

MTGルーム提供

現地支援（有償）

講座開催

県内CSOの皆さんのオンライン活用をサポートします！

2020.7.1スタート

オンラインCSO支援センター

オンラインMTGルーム提供および導入支援・オンライン講座開催



特定非営利活動法人

佐賀県CSO推進機構 ▶



第2期：2021年4月1日～2022年3月31日

MTGルーム提供

現地支援（有償）

講座開催

2020：8団体
2021：6団体
累計：14団体

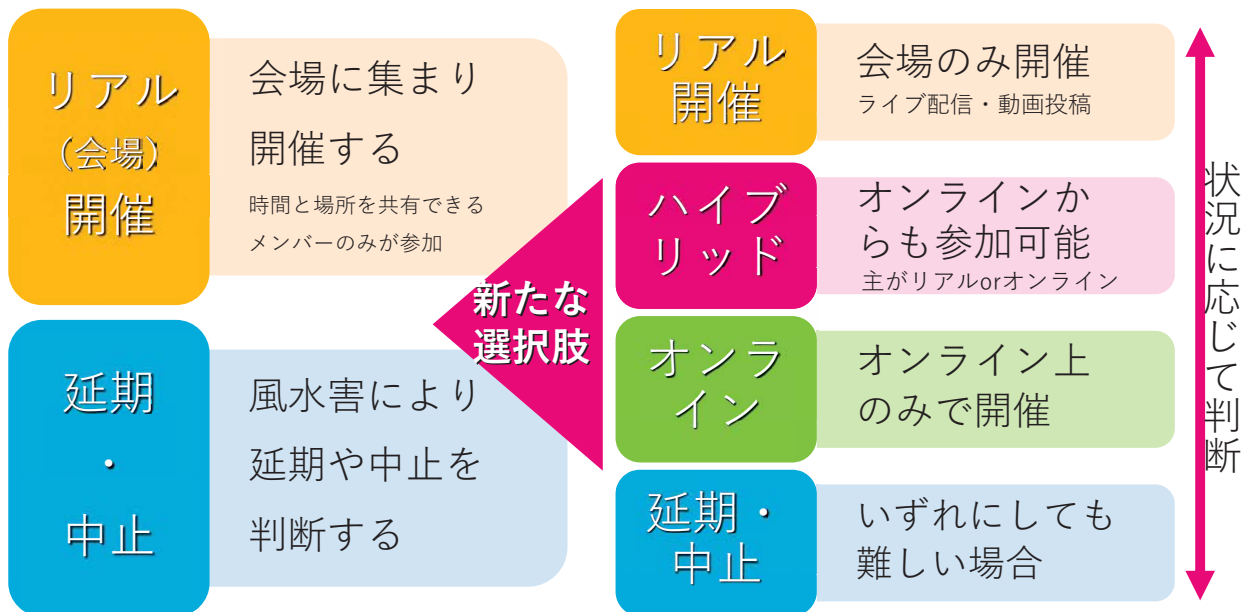
2020：12件
2021：25件
累計：37件

2020：11回
2021：13回
累計：24回

状況によってオン・リアルをシフト
ハイブリッド開催のすすめ

ビフォー・コロナ

ウィズ・コロナ



何れにおいても機会損失を極力なくすることが重要



地域での学び合い

西与賀校区

オンライン研修会～実践編～

- 8月27日／9月25日
- 1回目：Facebook講座を開き、登録や投稿方法のレクチャー
- まち協のFBページを公開
- 2回目：人権同和講座をFBページでライブ配信



嘉瀬校区

初心者でもわかる！Zoom講習会

- 9月10日
- 主催者の「Zoomを使えば世界が広がるということを伝えたい」との思いで開催
- Zoomの入室や操作方法を講義
- 反応ボタンやチャットを操作



チャット上のメッセージ

- 一人ミーティング・・・知らなかったです
- 7時半からあつという間でした。とてもわかりやすいです！
- 主催やってみたくです!!

佐賀市市民活動プラザ

プラザ

ほっと

知ろう、語ろう
市民活動！

マンス

プラザ体験月間

2022年

1月8日(土)～1月31日(月)

佐賀市市民活動プラザ 7F フロア および 特設サイト▶▶▶



市民活動団体10団体のインタビュー動画を視聴いただけます▲

令和3年度佐賀市地域づくり交流会

持続可能なまちづくり ～明るい未来へつなぐボタン～

2022年1月29日(土)
於:佐賀勤労者総合福祉センター



西九州大学・同短期大学部における地域連携事業

・地域大学の理念

西九州大学および西九州大学短期大学部は、教育・研究の地域志向化を通して地域の課題を解決することをめざします。

そのために、両校は、「地域に生活する人々への様々なかたちでの支援(生活支援)」を科学し、実践する高等教育機関として、全学的な教育、研究ならびにそれに基づく地域連携・貢献活動を展開していきます。

「地域に学び、地域とともに歩み、発展する高等教育研究機関」を目指す。



西九州大学・同短期大学部における地域連携事業

・地域連携組織

西九州大学「リカレント教育・研究推進本部」

健康支援センター

産学官連携推進室

健康福祉・生涯学習センター



認知症・介護予防活動

認知症の早期発見・予防のプログラムを作って自治体に提案しています！



地域産品で商品開発

佐賀ならではの食材を活かした機能的食品を開発中です！



子育て・福祉支援

「遊び」をとおして子どもたちの表現力や思考力を伸ばす活動をしています！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学 西九州大学短期大学部

地域活動の位置付け

・西九州大学

科目名

1年	あすなろうⅠ
ボランティア活動 ビジネスマナー講座 社会人基礎力養成 少人数ゼミナール	
座学 ↔ ボランティア	
視野の拡大 コミュニケーション力の向上	

2・3年	あすなろうⅡ
地域活動参画 企業自治体との共同研究	
問題解決力 主体性の向上	

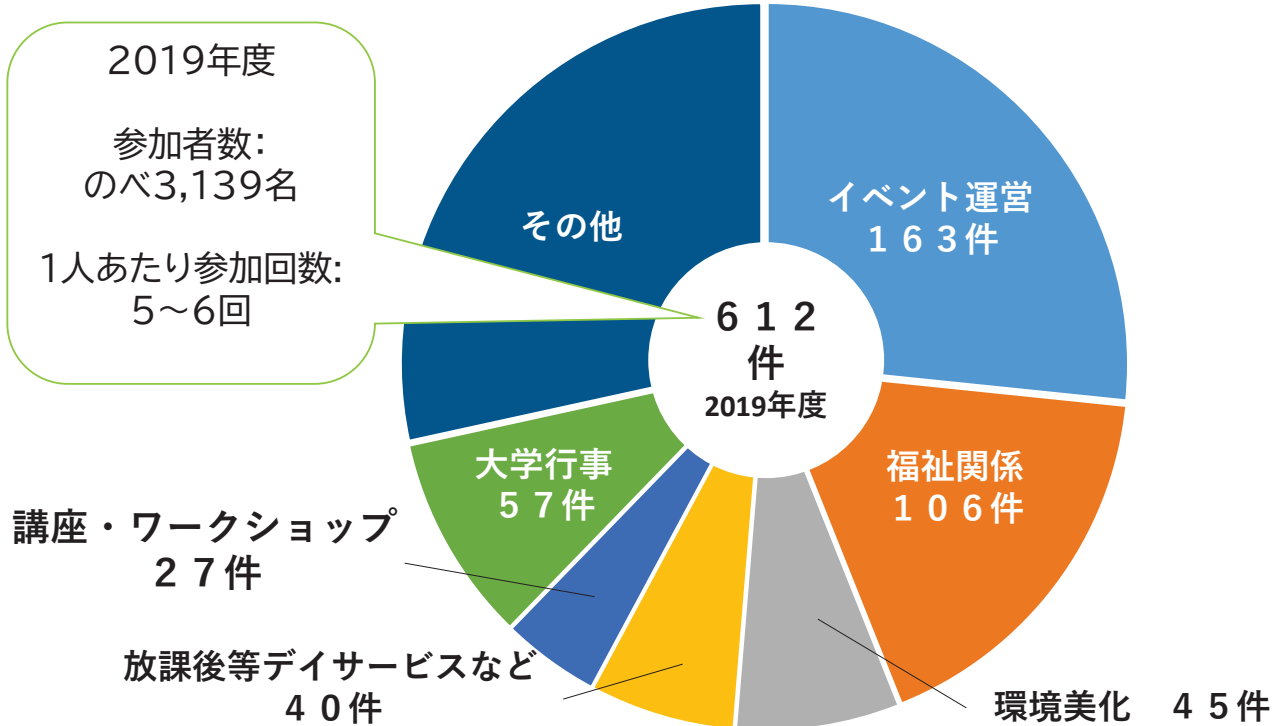
2・3年	あすなろうⅢ
企業インターンシップ	
社会性の向上 職業観育成 進路意識明確化	



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学 西九州大学短期大学部

西九州大学(2019年度)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

地域活動の位置付け

・西九州大学短期大学部

科目名 **1年**

- 「地域生活支援学」
- 「あすなろう体験」
- 「あすなろうキャリア」
- 「インターンシップ」
- 「SDGsの実践」

地域について学び、地域活動を通じて地域の諸問題を理解し、実践力を身に着ける。



2年

「地域生活支援演習(卒業研究)」

各コースの専門分野について、調査・研究を通じて2年間の自己の学びに対する総合的確認と自律的学修能力の涵養を行う。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

西九州大学短期大学部(2021年度)

短期大学部の地域支援： 各専門分野と関連した活動

地域生活支援学科

食健康コース……食育、子ども食堂など

介護福祉コース……高齢者レクレーションなど

多文化コース……異文化理解講座など

幼児保育学科……障がい児支援活動など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

事例紹介(大学)

被災した写真の洗浄@武雄



夏休み学校の補助@松梅



古民家の清掃・DIY@佐賀



野外イベントの運営@神埼



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

事例紹介(大学)

桜岡小学童



小城駅の風鈴棚設置



夏休み学習会



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

事例紹介(短大)

食育活動@多久



障がい児支援活動



公民館レク@赤松



異文化理解講座



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

事例紹介(短大)

多布施川清掃活動



運動・健康指導



子ども食堂ボランティア



さが国際フェスタ

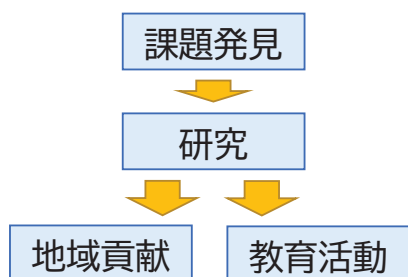


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部

今後の展開

「地域(産業界・官公庁・地域住民・NPO)の皆様と共に取り組みたいこと」



共同研究、商品開発

データサイエンス

異文化理解、国際交流

SDGsの実践活動

(西九州大学HP)産学官連携推進室では以下のことをします。

1. 本学の研究ジャンルを発信します。
2. 地域の課題と研究者のマッチングを行います。
3. 研究成果を社会に還元するために、知的財産に関する様々な情報を提供します。
4. 産学官連携を支援する補助金の紹介をします。
5. 地方創生及び地域活性化に貢献できる社会人の人材育成を目的として、共同研究やインターンシップなどを通して実践的なキャリア構築を支援します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

西九州大学
西九州大学短期大学部



田島興産株式会社
事例発表

Profile/

田島興産(株) 代表取締役
田島 広一

- 1984年3月 法政大学 卒業
- 1984年4月 地元建設会社 入社
- 1986年4月 佐賀市役所 入所
- 1992年4月 田島興産(株) 入社
- 1999年4月 代表取締役 就任



会社概要

会社名 : 田島興産株式会社
所在地 : 佐賀市水ヶ江6丁目4番11号
創業 : 大正11年10月18日 \もうすぐ100周年!!/
従業員数 : 54名
資本金 : 5,000万円
売上高 : 12.6億円(2021年3月決算)
認定 : 健康経営優良法人2021 ブライト500
佐賀さいこう表彰
「女性活躍推進（イクボス）部門」受賞 他

事業内容

【住まいの総合サービス業】

リフォーム/不動産/相続コンサルタント/LPガス販売

【建設業】

管工事業/水道施設工事業/電気工事業





田島興産の mission

私達が大切にしていること
社会に果たしていく役割。

「生きるを育て、生きるを守る」こと

安心安全な暮らしのその上に
「個」(その人らしさ)を尊重し、
一人ひとりの幸せの形にこだわり、
縁ある人々に「**生きることが喜び**」と
感じてもらうこと



VISION -目指す姿-

生きるを育て、生きるを守る
オンリーワン企業

「心の時代」

価値観の変化、多様性
モノ・コト消費からの変化、生活文化の創造

「持続可能な街づくり」

災害対策、エネルギー提案、長期優良住宅…
社会問題の解決から、人と人との繋がりを
感じられるあたたかな地域社会の創造

「企業は人なり」

仕事を通じた成長。
いつまでも、どんな背景の人でも
仕事にやりがいと誇りを持って働ける環境づくり

#地域との繋がり

- ・SDGs企業行動憲章の策定
- ・地域企業のBCP(事業継続計画)策定
- ・赤松まちづくり協議会にSDGs私募債の贈呈
- ・有事の際に活用する災害用バルク炊き出しセットの常備
- ・河川清掃、地域清掃活動
- ・棚田ボランティア
- ・私費留学生の支援
- ・フリースペース貸出
- ・「働きたいけん」賛同
- ・職場体験受け入れ etc..

【支援】

- ・佐賀大学よさこいサークル「嵐舞」
- ・プロバスケットボールチーム「佐賀バルーンズ」
- ・アクロバットパフォーマンスチーム「VIVO」



活動の紹介

まちづくり協議会

循誘まちづくり協議会を支える校区の団体・事業所

循誘まちづくり協議会は、校区の様々な団体・事業所や協議会の設立趣旨に賛同したみなさんから成り立っています。循誘まちづくり協議会では、主催事業、共催事業、地域行事を通して、循誘校区のみなさんや団体をつないでいます。今年度はコロナ禍のため、なかなか事業ができませんでしたが、11月から順次再開しています。

循誘まちづくり協議会 会長 平川 哲男
本部、地域活性化部会、環境・防災・防犯部会
健康づくり・福祉部会、子どもへのまなざし部会

循誘校区自治会長会
会長 黒木照雄（東田代南）
相互に連携し、校区の明るい住みよい町作りを進め、校区の発展に努めます。

循誘公民館
館長 坂井袈裟宣
校区民の皆さんの生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与します。

循誘校区スポーツ協会
会長 森 裕一（大財一区）
スポーツの健全な発展と校区民のスポーツによる相互の親睦に尽力します。

人権・同和教育推進協議会
会長 坂井袈裟宣

民生委員児童委員協議会
会長 谷島 寛（下今宿）
地域住民の社会福祉の増進に向けて、福祉全般の相談・援助活動を行います。

柳町まちづくり
会長 橋本 新一

交通安全協会循誘支部
支部長 吉田敏幸（東田代北区）
交通事故の防止に努め、交通安全の実現に寄与します。

長寿会連合会
会長 枝永一馬（大財二区）
会員相互の知識や経験を活かして、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めます。

くれよんロケット

佐賀市消防団中央分団
6部 部長 陣内敏彦（大財三区）
7部 部長 中野浩治（牛島町）
みなさんの命と財産を守ります。

高齢者ふれあいサロン



循誘校区の

まちづくりのネットワーク

社会福祉協議会
会長 平川哲男（材木町）
校区における社会福祉事業の推進、向上をめざします。

青少年健全育成協議会
会長 坂本広樹（大財二区）
青少年の健全育成のために尽力します。

子ども会連絡協議会
会長 平川 信（大財六丁目）
子ども会活動を活発にし、子どもの社会性、協調性を養い、子どもの健やかな成長を育みます。

食生活改善推進協議会
会長 宮地真由美（大財六丁目）
身近な家庭や地域で食生活習慣を見直し、改善し、健康づくりを推進しています。

少年育成委員
班長 宮原辰美（東田代南）
少年の非行防止及び健全育成を図ります。

公民館自主サークル
会長 今村美恵子（紺屋町）
校区民の皆さんの教養や文化の向上を目的に活動しています。

保護司会

循誘子ども見守り隊
隊長 野中 勇（高木町）
将来を担う子どもたちの安全・安心を守ります。

浪漫座

地球市民の会

幼稚園・城東保育所

わいわいコンテナ

城東中学校PTA

城東中学校

循誘小学校

循誘小学校PTA

循誘まちづくり協議会では、豊かで住みよい地域づくりに向け、公民館や校区内の団体・事業所と連携し、様々な取組・事業・行事に取り組んでいます。これまでの事業・行事の一部を紹介します。



ふるさと美化活動



スマートフォン体験講座



公民館文化祭



じゅんゆうお楽しみ会



春のじゅんゆう文芸賞



くれよんロケット(クリスマス会)



カレーの日(毎月10日)



宿題やつつけ隊



循誘ふれあいふるさと祭り



日新校区まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ◆本部：日新まつり、日新校区ラジオ体操、日新文化祭、地域子ども教室、ふれあい映写会
- ◆地域文化部会：観月会、ふじの花見茶会、歴史探訪・講演会
- ◆環境保全部会：天祐寺川探検、花植え、視察研修
- ◆子どもの健全育成部会：通学合宿、子ども見守り隊、栄の国まつり、子どもみこし
- ◆安心安全部会：校区ハザードマップ作成
- ◆健康・福祉部会：ラジオ体操の推進、健康体操等、健康づくりに関する事業
- ◆公民館協力事業：趣味教養講座、日新さが学講座、日新ライトファンタジー

日新まつりは、日新小学校が築地反射炉跡ということもあり、校内にあるカノン砲の空砲を撃ちます。迫力のあるカノン砲の音とともに校区民の楽しみな行事です。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

例年実施されている事業のほとんどが中止になっています。
今年度中実施された事業は、ふじの花見茶会、観月会と公民館協力事業です。
感染状況の変化を予測しながら中止を決定する場合も多く、参加者の安全確保と感染対策を考慮しながら進めています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今後予定されている日新文化祭については、近日行われる役員会にて実施するか否かを決定します。また、縮小した形態での実施を含めて検討することになります。
多くの事業が中止される中、知恵と工夫で少しでも校区民が参加できるよう、これからも考えていきます。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナウィルス感染リスクを避けるため、多くの事業が中止されていますが、感染状況を鑑みながらできるだけ実施出来るよう考えています。
各種団体・サークル活動は感染対策を行いそれぞれ活動を行っています。
公民館での活動は地域の拠点として大切な場所です。みんなで協力して乗り越えましょう。

観月会（令和3年）



ふじの花見茶会（令和3年）



赤松まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

結成5年目。市内のまち協ではビリから数えたほうが早いスタートになったが、先輩まち協さんの状況を学び、参考にすることで前に進めた。本部・役員のもと「げんき」「まなび」「あんしん」「親子ふれあい」「つながり」の5つの部会を作り、80人の委員が揃った。大事にしたのは若いメンバーが参加しやすい環境づくり。会議をすべて夜間に行い、仕事や家庭を優先してもらうことで「地域活動を楽しむ」スタイルにこだわった。結果、メンバー全員が互いに仲良くなり、和気あいの活動が実現した。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

集まらないけどつながりは維持！この二律背反を解決すべくLINEで「グループ赤松」を作り、スマホ教室も開催、40人が参加し情報を共有している。こども食堂などイベントごとにグループを作って情報共有化を実現。ウイルス対策で何かと制限の多い公民館事務所のPCをカバーすべく、まち協設立と同時にパソコンや複合機などを導入したことが今回のコロナ禍で、一気に役立った。編集者が一人きりでなかなか更新できなかったまち協ホームページは、フェイスブックの勉強会を実施してこれに変えた結果、16人の編集者が揃い頻りに更新できるように。公民館の講座や行事、教室なども動画カメラやプロジェクターを購入して無線でつなぎ、2部屋同時開催を実現した。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今年は規模を縮小したが、昨年から県建築士会青年部と一緒に「水鏡プロジェクト」を開催。県文化課やサガテレビとともに「春フェス」「さいこうフェス」にも取り組んでいる。これからも佐賀城址や堀、美術館や博物館などを擁する地の利を活かし、観光も含め新たなイベントに挑戦していく。ますます深刻化する少子高齢化や地球温暖化の中で、高齢や子どもたちを孤立させず、お隣やお向かいさんを単位とする地域活動のあらゆる問題に、まずは取り組み続ける。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

「思いやる 心でつなぐ ふれあいのまち 赤松」。このキャッチコピー通り、赤松まち協はコロナ禍をもチャンスととらえ、SNSやデジタルを活用し活動を前に進めている。結果、助成金頼みの活動から、自らの足で立つNPO法人化も見えてきた。100人近いまち協メンバー全員がコロナ禍に立ち往生するどころか、解決し前に向かう姿勢を貫いているからこそその姿。これからもさらに多くの方のまち協参加を願っています。

赤松小 PTA や先生のバンド演奏で大合唱



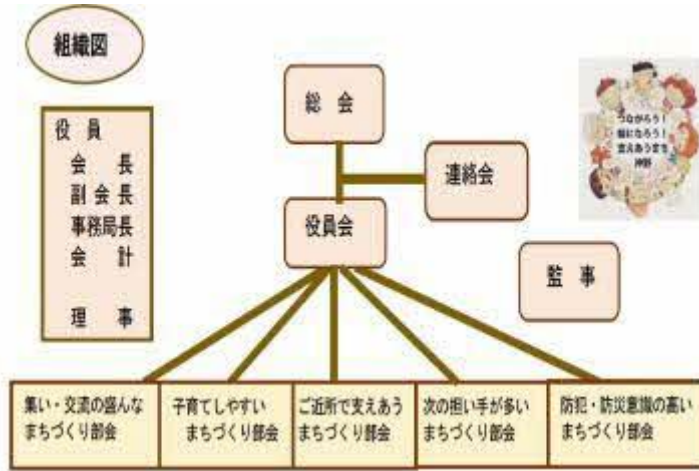
まち協主催の水鏡プロジェクト



神野まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」を目標に掲げ、神野校区に住んでいる人たちが、お互いに交流と親睦を図り、豊かで住みよいまちづくりに取り組もうと平成26年（2014）6月25日に設立されました。



子どもから高齢者まで楽しめる「神野校区夏まつり」、質の高い文化芸術に触れることを通して豊かな感性を育む「神野芸術祭」、公民館自主サークル活動の成果を発表し、地域交流の場とする「公民館文化祭」、地域の子どもを見守り、地域全体の安全・安心を図る「地域の安心・安全見守り事業」など、協議会本部が主体となって行います。また、当協議会には5つの専門部会を設けて事業を進めています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

新型コロナウイルスの感染問題は社会経済を大きく揺るがせ未だに終息しない状況ですが、活動を中止あるいは廃止することは避けなければなりません。現在までに築き上げてきたいろんな事業・実施予定のイベント等を実行していく中で、各種団体等には「3密の回避」を最優先にして取り組むよう指導しています。開催するかどうかの最終的判断は、もちろん担当部門が決定します。決定に至るまでは、担当責任者の独断にならないよう、当協議会の役員会や連絡会で意見を交わしています。

ところで、令和3年度に開催する予定でした「夏まつり」「体育祭」をはじめ多くのイベントを中止いたしました。これも「3密」を回避したことが大きな原因の一つです。‘命あつての物種’です。みんなの安全・安心が第一です。

今後取り組みたいこと、地域の方へのメッセージ

「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」をより強固な『絆』創りのスローガンとして行くためには思考停止は許されません。環境の変化をいち早く読み取り、先取りした団体として、常に前進して行きたいと思っています。いろいろな訓練、講座も大切ですが地域の人たちの強くて思いやりのある『絆』が重要です。

そのため今後とも毎月の役員会は開催し、連絡会と共に新しい環境下で実施できるイベントなどに取り組んでいきたいと考えています。みんなで取り組み頑張りましょう。

救命救急法を学ぶ 神野女性の会



2021年11月1日 神野公民館

エコ生活の研修 神野まち協 近所で支え合う部会



2021年11月10日 神野公民館

西与賀まちづくり協議会

西与賀まちづくり協議会では、2020年4月第2次夢プランを決定しました。ちょうどコロナウィルス感染症が流行りだし、集会や行事が制限され、この2年間大きな活動が取り組めていません。こうした中でも、西与賀まちづくり協議会としてできることを、みんなで話し合いながら、取り組んできました。活動の一部をご紹介します。

1. にしよかライトファンタジー・・・西与賀町に明るさと元気を発信！



6年生と地域の皆さんで作った
ペットボトルタワー



コンテストに向けて親子で
ロープライト作り



子どもスタッフと大学生で
盛り上げた点灯式

2. シトラスリボンプロジェクト・・・思いやりと笑顔の輪を広げよう！



城西中の生徒も
指導スタッフとして参加



オンラインで配信し
42回再生されました

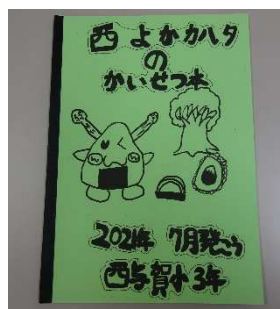


完成したリボンは西与賀小児童
全員と地域の皆様に贈呈

3. 「西与賀郷土かるた」を利用した事業・・・西与賀のよいところを見つけよう！



西与賀小3年生が「西与賀郷
土かるた」の題材を探検



完成した「西与賀郷土かる
た」の解説本



「西与賀郷土かるた」に載っ
ていない西与賀を見つけよう

4. その他

オンライン研修会、スマホ塾、西与賀ぶらあるき、新年五社詣り、手つなぎプロジェクトなど

嘉瀬まちづくり協議会

会 長 鈴 木 茂 和

地域活生化の原動力「嘉瀬かかしまつり」を原点に平成24年2月設立、試行錯誤しながらの地域事業、地域の皆さんに支えられ10年となりました。

これからも、コロナをチャンスとした、次世代につながるまちづくり、「自分たちのまちは自分たちの手で、安心・安全住みたい嘉瀬」を目指し、地域の皆さんと共に歩み、寄り添い、幸福度の高い地域事業に取り組んでまいります。今日までのご支援ご協力に感謝致しております。ありがとうございます。

【福祉・健康部会】

屋内での活動が制限され、今年度は、屋外事業に趣向をこらし取り組んでいます。「嘉瀬がんば project」と命名した「嘉瀬バルーンの里ウォーキング」、特典つき（参加ポイントに応じた参加賞）、参加者が体調に考慮しながら選べる森林公園内コース、野鳥のさえずり、四季折々の風情に癒され、楽しみながらのウォーキング、地域外の方々からも参加者があり大変好評です。

【環境部会】

森林公園道路側面400メートルのフラワーロード別名「おもてなしロード」として地元有志の方々のお陰で発足して15年になります。

老人会を中心に子どもたちから地域の皆さんが一体なったこれまでの活動が評価され、国交省より全国表彰に引き続き、今年度、道守九州会議より表彰して頂きました。これからも四季折々のフラワーロード、桜並木が往来の皆さんに癒しのひと時になればと願いつつ活動してまいります。

【防災・安全部会】

昭和28年6月26日、嘉瀬川決壊による水害を教訓として「防災の日」と定め、毎年地域住民全体での「防災訓練」を実施してきました。今年度は、規模を縮小して、避難所での、嘉瀬自主防災組織活動本部役員の役割、業務の連携確認、簡易テント、トイレ等の組み立て、非常食・給水等についての実務訓練を実施し、大変意義があったと思っています。これからも安心して住みたい嘉瀬、防災・減災を目指して取り組んでまいります。

【ふれあい文化部会】

嘉瀬かかしまつり、古里歴史探訪、嘉瀬川遣唐使船レース、密を避けるため全て中止となりました。唯一、毎年嘉瀬小学校4年生の子どもたちが制作してくれた案山子、今年は森林公園で開催された佐賀県小学校駅伝大会に応援団として展示、さらに地元の皆さんにと嘉瀬公民館に展示出来た小規模の「嘉瀬かかしまつり」駅伝大会に参加した父兄からも大変喜んでもらいました。また、地域にも元気を与えてくれたと思っています。

【子ども育成部会】

今年度（R3年4月～R4年3月）、ホームページを開設しました。12月12日佐賀市少年の主張大会で嘉瀬代表馬場里緒菜さんが小学校の部で優秀賞を受賞されました。密を避け趣向をこらしながらの事業、今回は「ゆめポケットの先生と遊ぼう」という試みで、6組の親子が参加しました。1月27日には「鬼は～外、福は～内」と節分に合わせた親子で遊びを予定しています。

巨勢まちづくり協議会

<p>巨勢川柳まつり(本部)</p>  <p>コロナ下でもできる事業として企画。23人の方から、わが町巨勢や家族への愛情、新型コロナなど世相を反映した67作品が集まりました。</p>	<p>巨勢町趣味と文化の作品展(本部)</p>  <p>文化祭に代わりサークル活動や教室、趣味の一環として作成された作品の展示会を開催し、17人の方々から46点の出品があり、観覧者で賑わいました。</p>
<p>巨勢町健康ウォーキング(本部)</p>  <p>今年で2回目。5kmと3.5kmの2コースに36人が参加されました。初冬の晴れ渡った空の下巨勢公園を出発、公民館東の田園地帯を楽しく歩かれました。</p>	<p>しめ飾りづくり会(本部)</p>  <p>例年、餅つきと併せ開催されていますが昨年は中止。今年はいしめ飾りづくり会だけでもというお声を受け開催。44人が参加され熱心に取り組みられました。</p>
<p>コセココロ通信の発行(運営・企画)</p>  <p>まちづくり協議会の開催事業について、各部会や委員会が記事を執筆。年2回の定期発行に加え、昨年「移動支援」特集号も発行されています。</p>	<p>巨勢町探検・ボランティア活動(子ども)</p>  <p>巨勢町の探検ということで、子ども17人を含む31人が参加。記念碑や神社等をめぐりながら道々でごみ拾いを行う清掃活動も併せて実施しました。</p>
<p>「交流」と「健康」講座(福祉・健康)</p>  <p>留学生22人を含む西九州大学短期大学部の皆様が巨勢公民館を訪問され、「国際交流講座」と「健康講座」を実施。大いに盛り上がりました。</p>	<p>移動支援事業(コセべんりカーの運行)(移動支援)</p>  <p>通院や買物に不便な思いをされている巨勢の皆様を支援するべんりカー。一昨年10月に運行開始し登録者も百人を超え、ますます活用されています。</p>
<p>安心・安全なまち歩き(安心・安全)</p>  <p>日頃、よく通る道や通り慣れているところに普段気づかない危ないところがないか、まち歩きをしながら探してみる体験活動を開催します。</p>	<p>自主防災組織設立準備会(自主防)</p>  <p>令和3～5年度に町区自治会と巨勢校区の自主防災組織を整備し、町の防災体制を構築すべく昨年度から関係団体で会議を立ち上げ取り組んでいます。</p>
<p>巨勢公園の花植え・美化活動(環境資源)</p>  <p>「みんなが住みやすいきれいな町の環境を作る」を目標に、年間を通じ巨勢公園美化～花苗移植・球根の植付、水やり除草等、環境整備を行っています。</p>	<p>巨勢町の史跡等案内板・歴史マップ製作(歴史)</p>  <p>町内26か所の史跡等の場所と歴史について解説する歴史マップ、それに現地14か所の案内板整備が完了、町内2200世帯と学校にマップを配布しました。</p>
<p>「卒業生に花を贈ろう」事業(本部)</p>  <p>コロナ禍で地域との交流の機会がなくなっている小学生、特に卒業生に、地域特産品の花とともにエールを贈る事業を行います。</p>	<p>巨勢史跡めぐり(歴史)</p>  <p>歴史マップで紹介している探訪コースのひとつを、3月27日(日)に、郷土史家の先生の解説を聞きながら巡ります。わが町の歴史を肌で感じる催しです。</p>

※ 括弧書きは、本部又は所管の部会、委員会名

※ 自主防＝自主防災組織設立準備会の略、歴史＝歴史・文化継承委員会の略

兵庫まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

平成 26 年に設立し、現在 8 年目を迎えます。主な事業としては「兵庫の里まつり」、「町民文化祭」、「鬼火焚き」などです。共生・環境部会、めばえ部会、イキイキ福祉部会、安全・安心部会、歴史・文化部会の 5 つの部会もそれぞれのテーマに沿って活発に取り組まれています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

コロナ禍の中で何かできることはないか、各部会でそれぞれ検討していただいています。
例えば、「町民文化祭」の出品作品の写真を昨年度に引き続き、「WEB 文化祭」と題して、「つながる兵庫」で掲載し、会場以外でも観覧できるようにしました。それから「兵庫の里まつり」自体は中止になりましたが、「花火打ち上げ」だけでも出来ないか検討したところ、会場の中を無観客に行いました。また、親子木工教室も昨年度は中止しましたが、3密を避けるため大きい会場の JA 倉庫をお借りし、今年度は事前に作業工程を On-Line で説明して、スタッフの数を減らしました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今後は、兵庫校区にある企業などへ協力要請をして、「まちの美化運動」や「子ども見守り」などの事業の充実を図っていきたいと思います。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

兵庫まちづくり協議会では、コロナウィルスにも負けず、感染拡大に十分に気を付けながら地道に活動を続けています。ご都合がつかれる際にはぜひともご参加ください。

On-Line 親子木工教室



兵庫町民文化祭（作品展示）



高木瀬まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- 「みんなで支えあう 住みやすいまち 高木瀬」を目指して、高木瀬まちづくり協議会は平成28年7月に発足しました。部会は、子ども見守り部会、高齢者見守り部会、防災部会の三つの部会があり、構成員は自治会をはじめ各種団体から約80名の参加をいただき活動しています。
- 青パトによる校区内巡回、歴史マップ作成、防災意識調査実施、また、子どもや高齢者の見守り・居場所づくり、認知症理解にも積極的に取り組んでいます。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- 昨年同様、校区の最大イベントである「ふれあい夏まつり」をはじめとする様々な行事が中止となり、人と人の接する機会が少なくなってしまい本当に残念です。できることをコロナ対策しながら取り組んでいます。
- 本部では、歴史マップ作成委員を公募し寺社仏閣等の資料を整備しています。
- 子ども見守り部会では、「ながら見守り」運動を提唱しだれでも参加できるように取り組んでいます。
- 高齢者部会では、認知症への理解を深め、サポート体制の構築を図っています。
- 防災部会では、最近の豪雨などに対応すべく全世帯を対象に意識調査を行い市とも意見交換しています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- 校区内の名所旧跡等に案内板設置や歴史散歩マップを作製し、高木瀬学検定試験や歴史散策を実施し、高木瀬に対する愛着を深める取り組みを検討しています。
- 子どもや高齢者を地域で見守るため、「ながら見守り」運動を広げます。
- 防災については、3年度実施した「防災意識調査」の成果を各自治会に還元するため、各自治会に総会等を利用し説明会を計画しています。
- 認知症の方が、安心して暮らせるまちづくりを目指して、住民の理解を深めるため、自治会ごとに認知症理解を深めサポート体制の構築を目指します。
- 環境美化のため、道路等清掃を自治会や団体・地域にも呼びかけ、一斉清掃を行います。

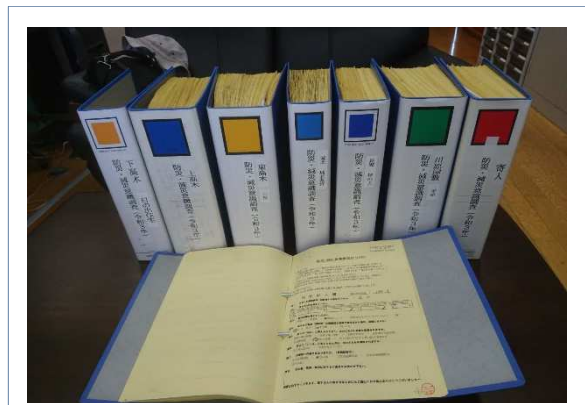
地域の方へ向けた応援メッセージなど

- コロナ禍で「巣ごもり」状態の皆さん、マスク・手洗い励行、三密を避け、再開され始めた地域行事に参加しましょう！！
- 公民館、自治公民館にも足を運んでください。仲間が待っていますよ。

歴史マップ作成委員会



意識調査結果



北川副まちづくり協議会

○地域の魅力

- ・北川副校区のほぼ中心を東西に走る「徐福サイクルロード」。毎年、桜の満開時期には、空が見えないほどの「桜のトンネル」となり、佐賀市内はもとより県外からも多くの花見客で賑わいます。



○コロナ禍で、工夫しながら事業を実施しています

昨年は多くの行事が中止になりましたが、今年度は「コロナ禍でどのようにできるか」を考え、地域に根付いた「活動への熱」を下げることがないよう、実施していく努力をしています。

北川副ふれあい冬まつり

3年ぶりに開催した「北川副三大まつり」のひとつ コロナ退散神事を行い、ほんげんぎょうの火にあたりながら、校区民の無病息災を願いました。

どちらの事業も、検温、手指消毒、来場者の記名など、コロナ感染防止対策をとって行いました



北川副校区交通安全教室

県警本部、佐賀南署に依頼し、身近な場所でおきた交通事故の事例を聞き VR 歩行シミュレーション機器を体験しました。



○今後取り組みたいこと

- ・安心して「集まる」ことができる日が来たら、盛大に三大まつりや防災訓練などの事業を開催したいと熱望しています。
- ・近隣校区と協同し共催できる事業を開催できれば、きっと盛り上がりますね。
- ・コロナ禍で、外出しないことが日常になっている昨今、地域の力を再び盛り上げるための仕掛けに取り組んでいきます。

本庄まちづくり協議会の取り組み(2021)

御多分に漏れず、本庄校区も「コロナ禍」にてできることしか出来ておりませんが、下記の2つのことについて紹介します。

①本庄校区風「SDGs」の取り組み

- ・できることを探してみました。
- ・出前講座にて学びました。
- ・軽トラ市を開催してみました。



②本庄町民文化祭オンライン

- ・どなたもが「中止かな」と思っていました。
- ・「オンラインでできるのではないかと考えました。」
- ・「本庄公民館文化祭」を「本庄町民文化祭」へと発展改称しました。
- ・公民館サークルさん、一般町民さん、町の団体さんの出展がありました。
- ・動画は「Youtube」、画像は「つながる本庄」にて活動展示ができました。



鍋島まちづくり協議会の活動紹介

《昭和 28 年鍋島水害写真集の発刊》

鍋島まちづくり協議会は、新型コロナの影響で地域住民が一带となって取り組める「養正ふれあいまつり」が2年連続でできなくなるとともに、計画した他の活動も制約を受けました。

このような中、今から69年前の昭和28年（1953年）6月25日から30日にかけて九州北部に梅雨前線が停滞し、100キロメートルの中で北上と南下を繰り返したことによる豪雨で佐賀県・福岡県・長崎県は壊滅的な被害を受けました。当校区では嘉瀬川堤防が決壊し1か月にわたって水が引かず、住民は大変な苦勞をする一方で堤防の仮締切などに一致団結して取り組みました。鍋島公民館には、水害の惨状や復旧の様子などを写した約190枚の写真とともに、当時の役場が作成した水害日誌や住民の記録が残されていました。カメラが普及していなかった時代にこれほどの写真を誰が写したのかわかりませんが、災害を後の世代にも伝えようとする先人のメッセージとしてとらえ、まち協と鍋島公民館が共催で写真集としてまとめることとなりました。そこで、まち協内に編集委員会を置き、令和2年11月の第1回を皮切りに、令和3年9月までに7回を開催し、10月に「昭和28年鍋島水害写真集」として発刊しました。

写真集は、写真や資料の保存とともに、被災を体験した方々の記憶を通じて被災から見事に復旧を遂げた住民の過酷な体験を後世に語り継ぐ「かたりべ」の役割を持たせ、今後の風水害や地震など自然災害への備えにつなげることができればと思っています。

また、まち協では「被災をこえて復興を遂げた鍋島から未来へのメッセージ」として、“災害とまちづくりの在り方には、密接な関係があり、写真や被災者の証言記録からは、近隣住民の温かいふれあいや助け合いが強く感じられること。そして、今日、社会構造や人々の考え方が大きく変化している中、住民の関係を以前のような助け合う関係に戻そうとしても、それは難しいことかもしれないが、住民同士がお互いに繋がり、情報を共有することで災害や事故を未然に防ぐことができるのではないか”という内容を写真集の結びに盛り込んでいます。

まち協では、写真集の発刊を機に、改めて「28水」とはどんな災害だったのか、そして、この体験を今後の地域づくりにどう生かすかなどについて考えるために、11月21日に写真集発刊記念式典を開催しました。

なお、佐賀市内の各まちづくり協議会には本誌を寄贈しておりますので、是非ご一読ください。



当時の被災体験者
によるパネルディス
カッション

金立まちづくり協議会

●^{び か び か だいさくせん}美化美化大作戦 令和3年11月21日（日）

主催：まちづくり協議会自然環境部会、子ども育成部会

共催：金立町自治会長会、金立町こども会

子どもから大人まで、約780人が参加。



●かるた大会（郷土カルタ）令和3年12月4日（日）

金立小学校体育館にて、1年生から6年生までが参加。（決勝戦の様子）



久保泉まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- (1) 国の天然記念物である、えひめあやめの保全活動を通じて、町民の融和・交流を図っている。
 - ① 小学生を対象とした、えひめあやめ総合学習、講座の実施
 - ② 町民による自生地の管理と育成作業
 - ③ 開花時期に、えひめあやめ祭りを実施し、一般公開している
- (2) 盆踊り・花火大会、ほんげんぎょうを開催して、町の活性化と町民相互の交流を深めている。
- (3) 子ども見守り活動（青パト巡回）、自主防災対策、高齢者支援活動など、安全で、安心して暮らせる町づくりをめざしている。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

コロナ禍の中で、えひめあやめ祭り、町民体育大会、高齢者グラウンドゴルフ大会など、各団体主催の町の活性化と、地域住民相互の交流を目的とした主要な行事、イベントを中止せざるをえなかった。そんな中でも密にならないように縮小してでも行事を実施しているものもある。

- (1) えひめあやめ祭りはコロナ対策を徹底し、実施した。
- (2) 盆踊りは中止したが、各種団体が子ども向けの露店出店、花火の打ち上げを行った。
- (3) 文化祭では舞台発表は中止したが、作品展示は行った。
- (4) 今年1月にはコロナ収束を願い、ほんげんぎょうを実施する予定で準備を進めている。ぜんざいの振る舞いは中止するが、子ども達にもちつき、焼き芋づくりの体験をさせる。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

来年度は、まちづくり協議会を中心とした各団体の正常な活動を町民一体となって行えるように願うものである。

- (1) 重点取り組みとして6つの企画委員会と、各団体が行っている事業及び活動をさらに充実させ、まちづくり協議会の活動に町民の方々がもっと参画してもらいたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

久保泉校区は、みんな笑顔で助け合う、安心・安全なまちづくりを目指しています。みなさんも参加してみませんか。そして町民みなさんでまちづくりを盛り上げていきましょう。

えひめあやめ祭り（令和3年 3～4月）



盆踊り・花火大会（令和3年度）



「佐賀市地域づくり交流会」に係る活動紹介内容

部会名	コロナ禍での活動事例紹介内容		
	「頑張って取り組んだ事」	「今後取り組む予定の行事」	「コロナ後にやりたい事」
本部	<ul style="list-style-type: none"> 蓮池まち協2大イベントの一つ観月会では、メインとなる芋茶粥の振舞いや月あかりコンサートが実施できなかったが、中止することなく初試の「花火大会」をメインに、町内の皆様に元気を与えることができた 	<ul style="list-style-type: none"> 二つ目のイベントである「文化祭」を3月に計画。コロナ禍では発表会・物産販売・作品展示など会場の分散化が必要であるが、密を避けるために屋外特設ステージを設置するなど感染対策を施して実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> まち協と町民の方々が手を携え『元気な蓮池!!』を目指して事業を進める【具体的には】 (1)町民全体が元気となるイベントの企画 (2)蓮池町の歴史を伝える人材の育成 (3)部会間及び各種団体との更なる連携強化 etc...
歴史と伝統文化部会	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度からの継続取組みである、蓮池公園内と宗眼寺の歴史的遺構看板設置について、市(緑化推進課)の支援を受けて、ほぼ当初計画数の看板を設置できる見通しがついた 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的遺構看板などハード面の整備を受けて今後、町内の歴史探訪(町内巡り)を計画し、蓮池町に伝わる歴史や文化を学び継承する 	<ul style="list-style-type: none"> 蓮池町の歴史を伝える人材(ボランティアガイド)の育成 次世代を担う子供たちの視点に立った歴史学習会の実施
安心で安全な地域部会	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍、関係者との連携で当初計画の事業全て実施 (1)既設置の救命具点検整備(町内設置15か所、追加2か所) (2)水難事故防止(着衣)訓練(小学5~6年生対象) (3)AED取扱い及び消火訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、佐賀市総合防災訓練が蓮池校区で開催(R4.2.20)されるため、その中で避難訓練及び避難所開設・運営訓練を予定 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の影響とされる災害の多発化・甚大化に備え避難訓練・水難訓練・救命訓練など地道に計画・実施
自然と環境を考える部会	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の環境美化活動を行うに当たり、芙蓉校の子供たちにも参加してもらえるようパンフレットを作成し学校に呼びかけ実現 	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな蓮池公園を次世代に引き継ぎコミュニティの場として多くの町民に利用してもらえるような活動の継続 R4年5/22夏の花植えを計画 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりにアイディアを持ち寄り自然と環境を考える「場」を創出(討論会の開催) これまで部会員の当番で花壇の世話をしてきたが、より魅力的な人の集まる公園にするため知恵を出し合う
子どもの未来づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> 2企画のうち科学体験は中止したが、有田ポーセラーツパークにて陶芸体験を実施 実施に際し学校やバス会社、訪問先施設と入念な事前打合せを行うと共に、その具体的な対策を保護者に通知する等感染対策に万全を期した 	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸体験では引率者からの要望もあり、次回以降「親子陶芸教室」を視野に計画 食育の要素を取り入れたハンバーガーづくりを計画準備中 	<ul style="list-style-type: none"> ミニ通学合宿やキャンプなど日頃、子供達が学校や家庭でなかなか経験出来ない体験活動や交流の機会を与えられるような催しを企画
高齢者の健康と福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍、老人クラブや各町区からの高齢者参加が減少し、又午前中と限られた時間での高齢者スポーツ大会ではあったが、休憩時間に老人クラブからの踊り「麦畑」を披露頂くなど会場は盛り上がり、目的である仲間づくりができた 	<ul style="list-style-type: none"> 数々の大会スタッフ写真を提供して頂き、今年度3月に計画される「蓮池町文化祭」にて展示する 大会に参加できなかった高齢者や家族に閲覧頂き、会場の雰囲気味わうことで『来年は私も!!』との思いを馳せてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 例年通り競技数を減らすことなく、又、昼食には「カフェコーナー」を復活させ町内の高齢者が軽スポーツを通して親睦が図れる大会を計画 大会運営の反省点として役員と参加者の区別がつくよう役員は、まち協のジャンパーを着用し名札を付けよりスムーズな大会運営に繋げる

新栄まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

暮らし部会、環境部会、歴史文化部会、育成部会、福祉健康部会の5部会から成り立っており、暮らし部会は「みんなの絆で支え愛」、環境部会は「みんなで未来へつなぐ自然愛」、歴史文化部会は「みんなで歴史を学び育む郷土愛」、育成部会は「みんなで学んで育ち愛」、福祉健康部会は「みんなで声かけ助け愛」と、それぞれの部会が各々のテーマに沿った活動をしています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

校区の行事の多くは中止となったが、感染予防の手洗い・マスク着用・3密を避けて、雛飾り・鯉のぼり・七夕まつり、ランタン飾り、イルミネーション等を公民館に飾り付け、校区民の方が元気を出すようにした。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

来年度は、今年できなかった夏祭りやバザー等を開催し、地区のみんなが元気になるようにしたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

町のキャッチフレーズの『あいさつするまち・健幸で躍動するまち・新栄』を目指して頑張ろう!!

鯉のぼり掲揚（R3年度）



新栄イルミネーション（R3年度）



若楠校区まちづくり協議会活動報告

まちづくり協議会として、この2年間コロナ禍で活動が中止せざるを得なかったことはとても残念でした。特に夏祭りであるふるさと若楠納涼祭り・若楠文化祭・さが桜マラソン応援プロジェクトなど是非とも取り組みたかった行事だけに、地域住民の代表としてとても悔しい思いでした。

その中で、若楠の子どもたちとの対面交流ができない中、子どもたちとの気持ちを繋ぐため、アマビエすくすく君（これはアマビエと若楠小学校のキャラクターすくすく君が合体したもの）の絵が描かれたオリジナルキーホルダーを製作し、全児童にプレゼントしました。さらにすくすく君のカラーマンホールも製作し児童がいつも通る学校敷地内に設置寄贈しました。

秋の運動会である区民体育大会は体協が主催でまち協は共催ですが、コロナ禍で何かできないかと皆で協議し代りに対象者や人数を制限し、ニュースポ・レク祭として十分に感染対策を講じ実施し、参加された皆さん大層喜ばれました。

特に、新年初めの若楠ほんげんぎょうは主催行事として力を入れておりますが、がっちりと組み上げた見事な土台の檣に竹や小笹を立てかけ中心は6メートルにそびえ7時に点火、真っ赤な炎はまっすぐ天にも登る勢いで燃え盛り、最長40分も燃え続け今年こそコロナの収束をと皆で祈った年頭祭りでした。また、翌日には若楠校区新年交流会を感染対策に万全を講じ開催し、この席で本年度叙勲や功労表彰された受賞者を若楠校区としても称えたいと記念品を贈呈した祝賀会もなって、大盛会の若楠校区の幕開けでした。

活動の様子



寄贈した すくすく君 のカラーマンホール



令和4年1月9日に行った若楠ほんげんぎょう

開成まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

開成校区では、平成27年3月に開成まちづくり協議会を設立し、「世代を超え 人と人がつながり 健康で暮らしやすいまち 開成」をスローガンとして揚げ活動しています。

まちづくり協議会を作ることで、団体や自治会だけでは対応が困難な課題について、福祉部会、文化・スポーツ部会、子ども部会、生活・環境部会の4部会を設け、校区民が協力・連携して取り組んでいます。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

本 部 「夏祭り」、「通学合宿」、「文化祭」は中止となりましたが、コロナ禍でもできることとして昨年度から取り組んだ「イルミネーションフォトコンテスト」を、今年度も引き続き開催しました。

福祉部会 70歳以上の一人暮らしの高齢者の方へ「年賀状、しめ縄等の配布」を行いました。

文化・スポーツ部会 「ラジオ体操」、「佐賀の食文化」は中止しましたが、次年度開催に向け検討しています。

子ども部会 「振休パーク」や「子ども寺子屋」、「中学星サンタ」等、活発に活動ができました。

生活・環境部会 「嘉瀬川ダム視察」や「美化活動」の他、「歴史講和」等、新しい内容も加えました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

地域活動の停滞化につながらないように、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に気を付けながら、複数の部会や地域団体が安全に参加できる屋外イベントを検討中です。

なお、今年度は開成校区にちなんだ文言や絵を小学生から募集し、「開成大型かるた」を一部作成しました。校区の魅力再発見及び発信につなげたいと考えています。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナ禍ではありますが、開成まちづくり協議会は地域住民の安心安全に気をつけながら、地域力を上げる取り組みを地域全体で進めていきたいと前向きに考えています。

一人一人の力を合わせて、素敵な校区にしていきましょう！

まずは活動へのご参加お待ちしております！

嘉瀬川ダム視察（生活・環境部会）



中学星サンタ（子ども部会）



春日まちづくり協議会の取り組み

イルミネーション点灯式



日時：令和3年11月27日（土）
主催：春日まちづくり協議会
春日校区自治会長会
共催：春日公民館



心と体が楽になる介護教室

日時：令和3年12月11日（土）
主催：春日まちづくり協議会
共催：民生委員・児童委員春日校区会
おたっしゅ本舗大和



小さな作品展

期間：令和3年11月3日（水）～21日（日）
主催：春日まちづくり協議会
共催：春日公民館

春日北まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

春日北まちづくり協議会は、「絆 ～つながり 支え愛 みんな笑顔の春日北～」をスローガンに平成27年3月に発足しました。5つの専門部会「自然・文化部会」、「子ども育成部会」、「健康・福祉部会」、「安全・安心部会」、「人のつながり部会」を設置し、豊かで住みよい地域づくりを目指して日々活動しています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・ 毎年恒例の「かすが北まつり」については、感染拡大予防のため中止しました。
- ・ 今年度は、コロナ対策に十分留意しながら下記のイベントを開催しました。
 - ① 花だん活動、春日北大好きプロジェクト（合格祈願ウォーキング他）
 - ② 元気アップ教室
 - ③ 校区一斉ラジオ体操、ニュースポーツ体験会（高齢者、児童）
 - ④ 救命救急訓練（AED講習他）、防災防災講座（HUG等）
 - ⑤ 花火大会、子供縁日（屋外）
- ・ 春日北校区文化祭については、現在コロナの状況を考慮しながら実施方法を検討中

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・ 地域のお困り事（公共交通問題、社会福祉等）の解消に、自治会長会、民生委員会他の皆様と協力し取り組む。
- ・ まちづくり協議会の認知度を高め、構成メンバーを増やす事。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

まちづくり協議会の活動に積極的に参加していただき、楽しみながら春日北校区を発展させましょう。

合格祈願ウォーキング（令和3年度）



こども縁日の様子（令和3年度）



川上校区まちづくり協議会

各種団体との連携によるまちづくり

川上校区まちづくり協議会が発足して早9年が経過しました。この間川上校区では、まちづくり協議会、自治会長会、自主防災会本部、校区社協、校区公民館など、互いが校区の課題を共有し、支援体制を取りながら色々な事業の取り組みをしてまいりました。

また、民生委員児童委員協議会、自治会女性部、PTAなど他団体からの人的支援と協力のもとで、校区が一体となった理想的な事業展開をしてきました。

これからも地域団体と課題を共有し、住み続けられるまちづくりを目指して、弾力的な事業の取り組みに努めていきたいと思っています。

まち協と他団体との協働によるこれまでの主な取り組み

まちづくり協議会が実施する独自事業の一部を除いて（コロナ対策で中止）ほぼ計画通りに実施する事ができました。

今回は、各種団体の主催事業に協働としての主な取り組みを紹介します。

- ① 川上小の子どもが地域の人と昔遊び。（ケン玉・ダルマ落とし・お手玉・コマ回し・羽子板他）
- ② 独り住まいの高齢者にまち協で育てたさつま芋（紅はるか）のプレゼント。（見守りを兼ねて）
- ③ みかんの木オーナー制導入。高齢農家の労力軽減と校区外から人を呼び込むことで活性化。
- ④ 車いすテニス大谷桃子選手の校区挙げての講演会。
- ⑤ 高齢者一人世帯ふれあい会食会。川上校区ふれあい祭り。
- ⑥ 子どもから高齢者まで幅広い層による、かわかみ凧揚げ大会。（人と人とのつながり）
- ⑦ 災害時における高齢者要避難者支援名簿と住宅地図作成により避難行動に繋げる体制づくり。
- ⑧ 嘉瀬川流域の治水状況について出前講座。（国土交通省武雄河川事務所）
- ⑨ 地震災害を想定した住民参加による避難訓練及び炊き出し訓練。



富士まちづくり協議会

令和3年11月29日に設立しました。

富士町では、みんなが安心して住むことができるまちづくりを目指し、まちづくり協議会の設立に向けた準備を進めてきました。

令和2年10月に「富士まちづくり準備委員会」を立ち上げて議論を重ねるとともに、住民アンケートや3回の座談会を実施して住民の意見を聞き、まちづくり計画「夢プラン」としてまとめました。

この夢プランを実践する組織「富士まちづくり協議会」が令和3年11月29日に発足し、設立総会を開催しました。



全体目標

みんな笑顔でささえ愛 温もりのまち 富士

役員会

- ・ 会長
- ・ 副会長（3名）
- ・ 事務局長
- ・ 会計
- ・ 部会長（3名）
- ・ 監事（2名）
- ・ 顧問（2名）
- ・ 参与

事務局

専門部会

部会	地域の絆部会	地域活性化部会	すこやか部会
分野	「安全・安心」 「つながり」	「地域資源」	「子ども」 「健康・福祉」
目指す姿	○ 子どもからお年寄りまで安全安心で住みやすいまち ○ 住み続けたいまち・移住希望者に選ばれるまち	○ 緑と清流と温泉と自然の恵みを活かしたまち	○ 子どもがのびのび育つまち・子育てしやすいまち ○ いきいきと暮らせる長寿日本一のまち

青年部

※青年部は、必要に応じて3部会の活動を支援します。

三瀬村

概要

三瀬村は、脊振山系のふもとにある標高400mを超えるのどかで観光と農業が盛んな中山間地域です。隣県の福岡からは、国道263号の三瀬トンネルや三瀬峠を越え、三瀬のロケーションや癒しを求めて多くの観光客が訪れます。

平成19年からは三瀬村の店舗が参加する「みつせ高原キャンペーン」を開催し、地域ぐるみで三瀬村のPRを行っています。みつせ高原の爽やかな自然の中で元気においしく育ったブルーベリーやリンゴ、栗など収穫体験もできます。

近年は、三瀬村の最大のお祭り「三瀬村田舎と都市のふれあい祭り」と野外音楽イベント『みつせポップジャム』を同時開催しています。

現状

- ・令和3年度も「三瀬村田舎と都市のふれあい祭り」は中止となりましたが、元気な三瀬村を皆様知ってもらうため、「今年だけのスペシャル JAM!みつせポップジャムがどんぐり村に帰ってきた!!」と銘打って『みつせポップジャム』を佐賀県のリアルとオンラインを融合した文化芸術祭、LiveS Beyondの一環として開催いたしました。（公演の様子は、みつせポップジャム YouTube チャンネルでも配信。）
- ・また、過疎化が進む三瀬村については、今後「小さな拠点づくり」を進めていくうえで、未来を担う子供たちも一緒になって考えた将来の絵姿がレゴブロックで作り上げられました。（作品は三瀬支所ロビーにて展示中）

夢や希望に溢れ、活力のある三瀬村を築き上げたいと思います。

野外音楽イベント
「みつせポップジャム」の様子



レゴブロックを用いた
「小さな拠点づくり」の様子



第8回 西川副きずな祭

～みんなさそって行こう祭(さい)～



川中吹奏楽ミニコンサート



葉隠太鼓



ハンドベルきらら



川副キッズチアダンス

シフォンケーキ販売



わた菓子配布

西小カフェ



ドーナツ販売

ポップコーン配布



西小大豆販売



野菜販売



花の寄せ植え



ヨーヨー釣り



ハンドメイド小物

LINEで動画配信を行います
右の2次元コードから
友だち追加してください

「西川副まち協 絆部会」



R4.3.13(日)9時～

場所:西川副公民館

駐車場:緒方歯科

元JA西川副支所

主催:西川副きずな祭実行委員会

問合せ:佐賀市立西川副公民館

TEL45-1478

入場時に検温、消毒、マスク着用のご協力をお願いします。
体調不良の方はご来場をお控えください。

※雨天中止

※持参した方のみ一回抽選可
※賞品引換は十二時まで

400名に当たる!
お楽しみ抽選券



※持参した方のみ一回抽選可
※賞品引換は十二時まで

400名に当たる!
お楽しみ抽選券



※持参した方のみ一回抽選可
※賞品引換は十二時まで

400名に当たる!
お楽しみ抽選券



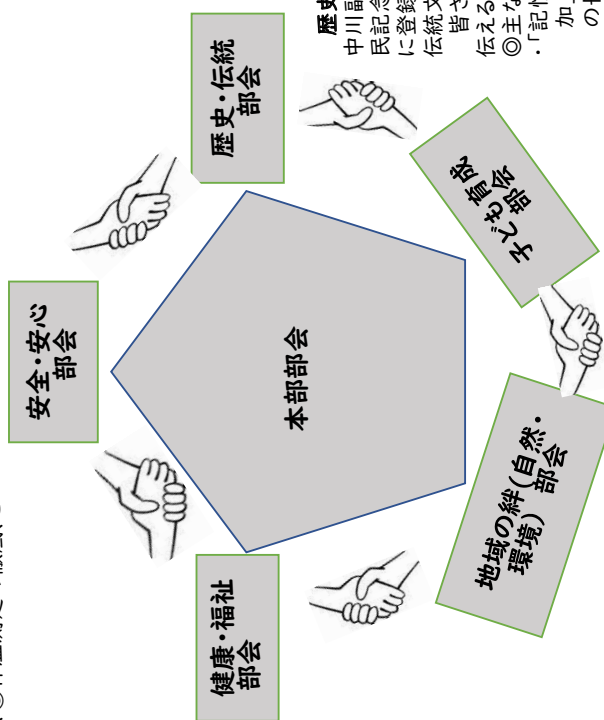
※持参した方のみ一回抽選可
※賞品引換は十二時まで

400名に当たる!
お楽しみ抽選券



私たちのまちづくり協議会は、地域の歴史と伝統を守り伝える町（歴史・伝統部会）、皆が安心して暮らす町（安全・安心部会）、高齢者が元氣な町（健康・福祉部会）、子ども笑顔あふれる町（子ども育成部会）、四季のうつろいを大切に、絆を深め活気ある町（地域の絆（自然・環境）部会）を指す、中川副校区夢プランの実現に向けて5つの部会を組織し、「ともに（輪）語らい、ともに（輪）笑い、学び、体を動かす」場を提供することを目的に活動しております。いまは、コロナ禍の中での活動に苦慮している。定期的な行事も、縮小、据え置き、延期などにならざるを得ません。

このような現状の中、各部会では、①三密を避ける、②手指の消毒、③体温測定の徹底、これら基本を守った活動を計画・実施をしています。



博愛の里中川副まちづくり協議会

問合せ先: 中川副公民館内
まちづくり協議会事務局

おなだの力を貸していただく



安全・安心部会

安心して暮らせる「災害や事故の少ない中川副」を目指し、防災・防犯に関する活動を企画・実行しています。

- ◎主な活動は、
- ・通学路の安全・パトロール（子どもたちを事件・事故から守る）
- ・通学路の安全点検
- ・交通安全運動期間中の街頭指導
- ・先進地の研修視察
- ・自治会、サークル単位での出前交通講和（交通事故0（ゼロ）を目指して安全運転の呼びかけ）

健康・福祉部会

高齢者が元氣なまちづくりを目指した活動を行っています。

- ◎主な活動は
- ・緊急連絡カード（独居高齢者の緊急連絡先の記載）の作成
- ・健康講演会の開催
- ・健康ウォーキングの実施
- ・観劇会の開催
- ・万歩計を着けて日本を縦断しようなどを継続して実施しており、そのほかにフォークダンスを楽しむ会など参加者の希望に沿った行事も実施しています。



歴史・伝統部会

中川副は、「佐賀の七賢人」佐野常民の生誕地であり、平成16年に佐野常民記念館が開館しました。平成27年には三重津海軍所跡が世界文化遺産に登録されました。校区内には、その他にもまだまだ未来に伝えていく遺産や伝統文化が沢山あります。

皆さんが、この中川副に誇りを持って頂けるように、これらの資産を見直し、伝えるための活動を続けています。

- ◎主な活動は、
- ・「記憶に残そう！明治からの中川副写真展」
- ・「佐賀維新祭りへの参加」
- ・「早津江歴史マップの作成」
- ・「記憶に残そう！明治からの歩み中川副の冊子の作成・配布」
- ・「中川副歴史探訪ウォーキング大会」の開催
- ・公民館と各部会が連携した「三重津カルタ大会」の開催
- ・校区自治会の協力を得て佐野記念公園（三重津海軍所跡）の清掃活動など
- ・歴史ガイド・史跡探訪会、歴史講座などは現在も定期的に開催しています。

子ども育成部会

「子どもたちの元氣な声が響くまち」を目指し、地域で子育てに関わり合うことを呼び掛け、博愛の里こども園、「中川副小学校・PTA」と連携をとりながら行事のサポートを行っています。

- ◎主な活動は、
- ・長期休暇を利用した、「クリスマス会」や「地域の歴史探訪」
- ・「絵付け教室」、「お楽しみ交流会」、「勉強お助け隊」など



地域の絆(自然・環境)

日頃顔を合わせないご近所の高齢者、働く世代、子どもたちが、近況などを話せる場を作る活動をしています。

- ◎主な活動は、
- ・春秋の地区対抗レクリエーション大会（ペタンク、いごでだま、グラウンドゴルフの地区対抗戦）
- ・グラウンドゴルフの地区対抗戦
- ・校区ラジオ体操会など



大詫間まちづくり協議会

歴史文化部会



●「遺跡や石仏が語る大詫間の歴史」発刊
写真や地図を取り入れた大詫間の歴史本を発刊しました。100件を超える配布希望があり、佐賀県以外に東京や大阪からも問い合わせが来るほどの反響がありました。

●本を活用し遺跡巡り



●本を小学校へ寄贈



子ども育成部会

●防犯看板を新調



●校区一斉ラジオ体操会



●探検、体験、有田の旅 地域の子どもと大人の交流事業



健康福祉部会

●緊急連絡先カードの作成・配置

65歳以上のお一人暮らしの方を対象に作成・配置を呼び掛けて配布し、地域の皆さんに「安心につながる」と喜んでいただきました。



●ふれあい健康
グランドゴルフ大会

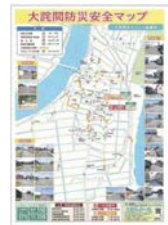
子どもから高齢者まで、青空の下たくさんの参加者がチームを組んで、楽しく交流しながら競技を行い、最後は抽選会で盛り上がりました。

暮らし絆部会

●絆ウォーク



●防災安全マップの作成



●ふれあい農園 小学校の授業や、収穫祭等で交流しました。



●夢の島プロジェクト

大詫間と大野島は同じ島の中で佐賀と福岡の二つの県に分かれています。その両地域住民の参加によるグランドゴルフ大会を開催しました。この交流事業は今回で4回目になります。コロナ禍で開催が危ぶまれましたが「交流の灯を消してはならない」と100名を超える参加者が集まりました。



●大詫間ハロウィン

子どもも大人も仮装して町内を練り歩きました。130名の仮装行列に町じゅう大盛り上がり！



東与賀まちづくり協議会

○まちづくり協議会の今年度の活動

まちづくり協議会では、東よか干潟の価値や魅力を発信していくために、ラムサール条約湿地の理念である3本の柱(保全・再生、ワイズユース、交流・学習)を基軸に、「海岸保全活動」や東よか干潟の「自然観察会(東与賀小・中学校)」を実施、また、東与賀海岸では「夕暮れコンサート」を開催しました。

このほか、今年度のまちづくり協議会の事業については、コロナ禍ではありますが、各部会が「田植え・稲刈り」「あいさつ運動」等に取り組みました。今後も感染対策に配慮しながら、予定している事業についてはできるだけ実施していくこととしています。

○東与賀海岸のシチメンソウ

東与賀海岸に群生する塩生植物シチメンソウは、晩秋になると海岸に紅い絨毯を広げたように鮮やかに紅葉します。毎年、この時期に地域の農業・水産業・商業を広く紹介するとともに、観光の発展と地域の活性化を目的に「シチメンソウまつり」が開催されます。コロナ禍により、今年度は開催されませんでした。例年、多くの来場者で賑わいます。

○地域への想い

東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」が令和2年10月20日にオープンしました。

この施設は、東よか干潟の特徴である渡り鳥、干潟の生きもの、シチメンソウ等のほか、佐賀海苔の養殖、ムツゴロウ漁等の解説展示、シアターでの上映等を通して、東よか干潟の魅力を発信し、有明海の自然環境の保全や子どもたちの環境学習が促進される施設となっています。

「ひがさす」の展望塔からは有明海の広大な干潟やシチメンソウを観ることができ、多良岳や雲仙普賢岳も遠望できます。開館以降、「ひがさす」には、県内外から多くの方が訪れています。

平成27年、東よか干潟はラムサール条約湿地に登録されました。

東よか干潟付近の農地では、長年、多くの農家が農薬や化学肥料を減らした米づくりを行ってきました。その取り組みは東与賀の豊かな美しい自然を残すとともに、ここに渡ってくるシギなど多くの野鳥たちに憩いの場を提供してきました。

この豊かで美しい東与賀の地で、自然との共生の中で生まれた特産ブランド米が「シギの恩返し米」です。この「シギの恩返し米」は各種物産品とともに、「ひがさす」で販売されています。



あいさつ運動



夕暮れコンサート

「佐賀市地域づくり交流会」活動紹介【久保田まちづくり協議会】

久保田まちづくり協議会では、令和2年度に以下のような活動を行いました。

1 本部・役員会

- (1) 総会 (2) 役員会 (9回/年) (3) 広報活動 ①まちづくり協議会だより発行 12回/年 全戸配布、②インターネット配信 (つながる久保田 69回/年 アクセス数 8,502回)、③おでかけ支援事業 (さるこうカー) パンフレット発行 全戸配布、④各種団体年間行事予定表作成 全戸配布
- (4) 公共施設の管理受託 6施設 (5) さるこうカー運転者会議 6回/年

2 防災・防犯部会

- (1) 防犯パトロール (青色パトロール) 実施 210日/年 実施延人員 540人/年
- (2) 防犯パトロール講習会 参加 21人

3 ふれあい活動部会

- (1) 小学生囲碁・将棋大会 久保田児童センターと共催 16人参加
- (2) 地域ふれあい活動支援 地域の活性化に寄与する事業を支援 (3地区)
※ 町民一斉ラジオ体操会、町民体育祭、ふれあい文化祭 いずれもコロナ対策で中止

4 自然環境部会

- (1) ふれあい親子釣り大会 参加 52組 186人
- (2) 花づくり教室 参加 81人 (3) 森林公園にホタルをとばそうプロジェクト
平成28年度からの継続事業 会議3回、調査1回

5 くぼた活性化部会

- (1) 餅つき会 40kg 役員等 15人で実施
- (2) 「思斉の郷」久保田塾 平成27年度から実施 2年度は9回/年 延べ参加 (聴講) 人員 204人
- (3) 牡蠣礁造成プロジェクト 平成29年度からの継続事業 牡蠣礁を造成すべく2年度は竹棒 3,000本を有明海に設置
※ 精霊流し、久保田塾の残り3回はコロナ対策で中止

6 こども育成部会

- (1) 小学生ラジオ作り教室 参加 17人
- (2) 児童センターとの交流会 老人クラブ会員とニュースポーツの交流会 27人参加

7 健康福祉部会

- (1) 元気アップ教室 (ダンベル体操) の立ち上げ支援 平成27年度からの継続事業
今年度1地区が立ち上げ 延べ 197人の参加
※ これまでに7地区が立ち上げ、いずれも自主事業として継続中
- (2) 地域見守り事業の支援 社協が行う福祉協力員制度に側面から支援 18地区 83人の協力員を確保した。
- (3) 健康づくりウォーキング事業 毎週水曜日森林公園で実施 参加者 延べ 436人
- (4) 外出支援事業 (さるこうカー) 平成30年から実施 土日祭日を除く毎日運行
2年度末利用登録者 61人 2,452件の運行



【 花づくり教室 】



【 外出支援事業 (さるこうカー) 】

ご視聴後はアンケートにご協力をお願いします。

下記QRコードまたはURLからご回答ください。



【URL】 <https://forms.gle/mVQSgb5zRzYaP8vD9>

佐賀市 地域振興部 協働推進課・公民館支援課

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商エビル7F

TEL	協働推進課	市民活動推進係	0952-40-7078
		地域コミュニティ室	0952-40-7039
	公民館支援課	公民館支援係	0952-40-7370
		施設整備係	0952-40-7366

FAX 0952-40-7385

E-Mail 協働推進課 kyodo@city.saga.lg.jp

公民館支援課 kominkan@city.saga.lg.jp

HP <http://www.city.saga.lg.jp>